

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2015年第1四半期（1月～3月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

犯罪に関する統計は公表されていないものの、ドバイ裁判所は、昨年の刑事裁判件数が2013年に比して15%増加したと公表（4月15日付報道）したため、この数値から見れば、全体としての犯罪発生件数が増加していることが推測できる。また、軽犯罪（不渡小切手、飲酒等）を対象とする軽犯罪裁判所が新設されるとのこと。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ等

3月10日朝、ドバイ・ダウンタウン区域のファイナンシャル・センター・ロードにおいて、超過勤務手当の支給に不満をもった数百人の建設作業労働者による抗議（集団示威）行動が発生した。一時道路を塞ぐ騒ぎとなったが、雇用会社等との話し合いにより解散した。負傷者等の発生は無かった。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

○ ドバイ首長国（3月11日報道）

アラブ国籍の男2人が、自分らの勤めているコンクリート製造会社に警備員2人を刃物で刺殺して侵入後、1,744ガロンのディーゼル燃料を窃取した。

○ ドバイ首長国（3月12日報道）

ラシディア地区の建設現場で、男（国籍不明）が借金の返済を迫った同僚の男を鉄棒で殴打して殺害した。

○ ドバイ首長国（3月16日発生）

アル・ワルカ地区で発生した、2つの青年集団の対立による格闘において、UAE人の男（25歳）が刃物で刺されて死亡した。

(2) 強盗

○ シャルジャ首長国（3月15日報道）

ムワイリ地区で、4人のパキスタン人グループが、会社の現金を輸送中の会社員の目に唐辛子スプレーを噴射して現金20万ディルハムを強奪した。

(3) 強姦（未遂）

○ ドバイ首長国（12月11日報道）

アル・クサイス地区で、シエラレオネ国籍の男が、客室添乗員のエストニア人女性の後を追って同女性のアパートに侵入し、強姦しようとしたが抵抗を受けたため、現金200ディルハムを強奪して逃走したが、間もなく逮捕された。

(4) その他

○ ドバイ首長国（1月3日発生）

インターナショナル・シティ地区で、中国人の男（26歳）が、知人宅前にガスボンベを置いて「借金の返済をしなければ爆発させる」と脅迫した。

○ ドバイ首長国（1月4日発生）

フィリピン人の無職の男が、ショッピングモールの駐車場でレバノン人女性に対し、ドライバーを示して「金を出せ」と脅し、同人から15ディルハムを喝取した。

○ フジャイラ首長国（1月～2月発生）

5人（UAE国籍4人とアジア国籍1人）から成る窃盗集団が、ディバ地区の銀行ATM機械から現金753,100ディルハムを窃取した他、複数の両替商や会社、ATMから現金を窃取した。

3 サイバー関連犯罪の増加

ドバイ警察サイバー犯罪捜査局によれば、昨年（インターネット）関連犯罪の発生は1,549件で、2013年の1,419件に比べて増加した。その内、389件が恐喝、248件が詐欺の事案であった。

4 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。